



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

10月15日 またまた年金から天引き 後期高齢医療制度および前期高齢者の国保税

10月15日、後期高齢者医療制度の保険料の4回目の年金天引きが実施されました。これまで家族の扶養になつていた75才以上の高齢者や、65〜74才の国保加入者など、今回から全国で新たに430万人が年金から保険料を天引きされました。

市の担当課によると「本市のばあい、国が決めた減額策によって後期高齢者の年金天引き者数は、8月(3回目の天引き)に比べて今回は逆に500人ほど減つて3550人。また国保税の天引き者数は約1100人で、市民の年金天引き者

数の合計は約4650人になる。なお、電話等での問合せは10数件で、殺到したという状況ではなかった」としています。

しかし、10月19日に大津町で街頭演説をしていた福田明議員が話し終わると、2人の年配の女性が福田議員に話しかけ「もらえる年金は国民年金なので2ヶ月

で7万円ちょっと。そこから介護と後期高齢者の保険で8千円も天引きされたらやっていけない。私らの怒りの声を国会にぜひ届けてほしい」と切々と訴えました。

日本共産党市議団は「後期高齢者医療制度は、国の医療費削減のための『うば捨て山』の制度であり、廃止以外ありません。そのためにも衆院での共産党の議席増が絶対に必要です」と連日、街頭から市民に呼びかけています。

大看板



神岡の国道6号沿いに観光案内板が完成しました。

盛況! 収穫祭&どぶろく祭り

マウン
あかね

10月19日、マウントあかねでは、恒例のどぶろく祭りが開催されました。好天にも恵まれ、昨年の3倍の



そばの早食い競争に盛んな声援。

人出とのこと。

今年、初めて、森のコンサートが開かれ、観客もいっぱい、お店を出した人も楽しい時間を過ごしました。関係者は「記事にするなら人出は1万人と書いてよ」とうれしそうでした。

また、たまたま知人に誘われて日立市から来てみたという方は、「じつは、こっちのほうまで来たのは初めて。北茨城は海もいいけど、山のほうも素晴らしいところだねえ。今まで知らなかったよ」と話してくれました。

日本人のノーベル賞の受賞が相次ぎ国内を沸かせた。特に南部、小林・益川の3氏が受賞した素粒子物理学は常日頃、縁遠い存在と思われがちだけに、これを機に新たな興味を注がれた人も多いことだろう。

日本の素粒子物理学の基礎を築いたのは、日本で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹氏であり、素粒子という言葉を最初に使ったのも同氏だと言う。その素粒子を構成している物質、クォーク理論の先駆者となつたのが湯川氏の弟子である坂田昌一氏である。

ノーベル賞と総選挙

北茨城市議会議員
福田 明

それが究極だと思つて認識をそこで止めてはいけない」と述べ、「この言葉を坂田さんは机の上に置いて探求のバネにした」と不破さんは紹介している。

今回受賞した「小林・益川理論」が発表されたのは、今から36年前である。この種の研究は理論が先行して、その後、実験によって実証する過程を経るため長年の年月を要する。しかし、最近、国立大学の法人化で国からの基礎研究費が削られ、短期間に成果を出すことが研究者に求められているというが、これは本末転倒である。

日本共産党の綱領(方針)は、情勢を科学の目で分析して約50年前につくられたその当初から、自民党の「大企業中心」「アメリカいいなり」という2つの政治悪をただすことが、暮らしと平和を守る道だと説いてきた。今の政治の行きづまりはその感をいっそう強くする。科学者にとって大事なのは理論と実験だが、政党にとって大事なものは方針の正しさと同時に選挙に勝つことである。近く予想される総選挙をその第一歩としたい。

小・中学校の適正規模等アンケート

本紙前号でも報じましたが、小・中学校の適正規模等についての検討がすすめられています。その一環で、市民の意見を聞くアンケート

トが実施されます。小学校6年生の保護者と中学校3年生の保護者、さらに20歳以上の市民、あわせて2000人を対象にアンケート用紙が送付されています。